



**みんなで作ろう！セーフコミュニティちちぶ**

## **高齢者の安全対策委員会活動報告**

**発表者：委員長 多比羅 幸男**  
**所 属：元秩父市老人クラブ連合会**

# 構成

区分	団体・組織名	委員数
住民組織等 (10)	秩父市老人クラブ連合会	2名
	秩父市在宅福祉員連合会（現・元会員1名ずつ）	2名
	秩父市町会長協議会	2名
	秩父市民生委員・児童委員協議会	1名
	秩父市健康推進員連絡会	1名
	秩父市社会福祉協議会	2名
行政機関 (7)	埼玉県秩父福祉事務所	1名
	秩父市（社会福祉課、高齢者介護課、包括支援センター、地域医療対策課、公募職員）	6名

# 対策委員会の経過

回数	開催日	主な会議内容
	2016年 2月16日	3市（北本市・郡山市・秩父市） S C 合同会議（各自治体の取組み研究）
第17回 ～ 第35回	2015年12月～ 2021年3月	★対策委員会を開催
	2016年10月19日	★ S C 認証1周年記念イベント（箕輪町 S C 関係者による講演会）
	2017年 9月10日	横浜市栄区 S C 事前指導視察
	2017年11月25日	★市民安全・安心フォーラム2017inちちぶ（ S C 認証2周年記念イベント） 市民啓発映画祭、記念鼎談、有識者による S C 分科会
	2018年 5月 2019年 5月	★ S C 講演会（新委員向け研修含む）
	2018年 8月21日	防犯講演会へ参加
	2018年11月14日	アジア地域 S C 会議厚木大会 「分科会報告」
	2019年 2月 1日	★ S C 事業報告会（ S C 認証3周年記念）
	2019年 10月 8日	★ S C 再認証事前審査（ S C 認証4周年記念）

★は、支援センター（日本セーフコミュニティ推進機構）が参加

# 対策委員会の活動の様子

## アジア地域S C会議厚木大会

写真①



写真②



写真③

## 視察の様子



## 2020年の会議の様子

写真④

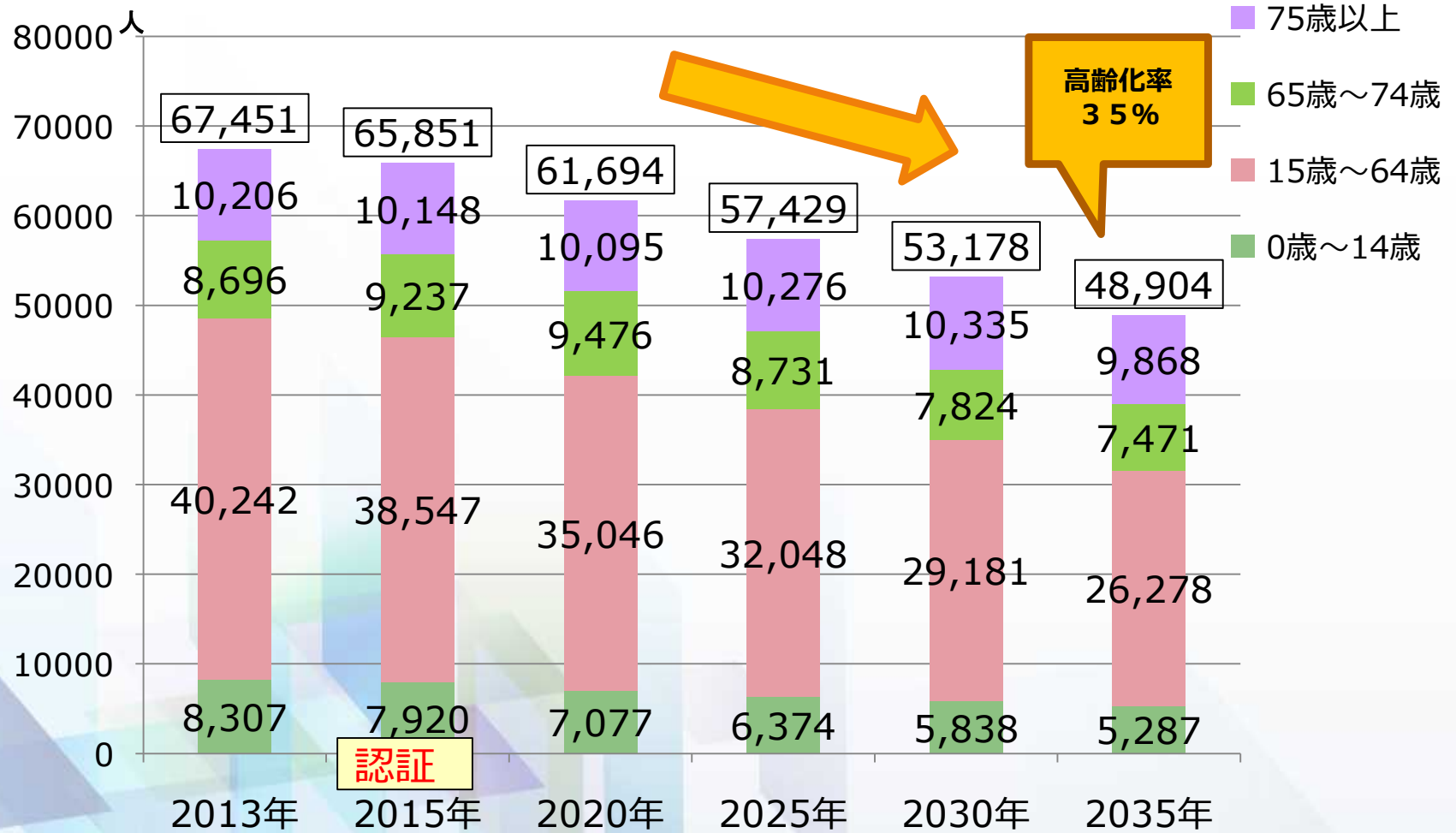


# 設置の背景①

図表 1

## 人口の減少と超高齢化社会の到来

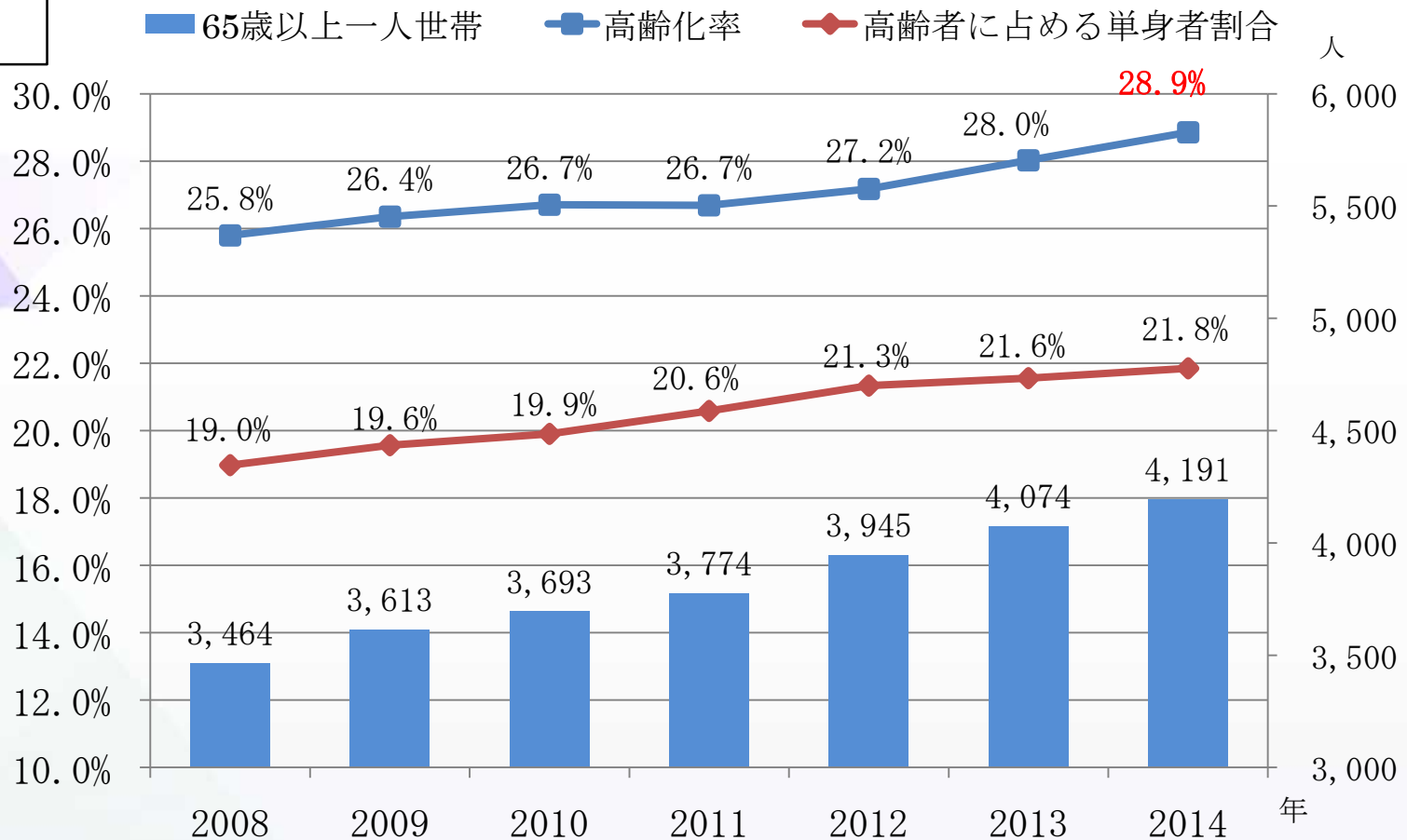
### 秩父市の将来推計人口



# 設置の背景②

- ・65歳以上の高齢者の増加が著しい。
- ・高齢化率は約29%。
- ・高齢者のうち単身者の割合は、約22%。

図表 2



出典：秩父市高齢者介護課

# 設置の背景③

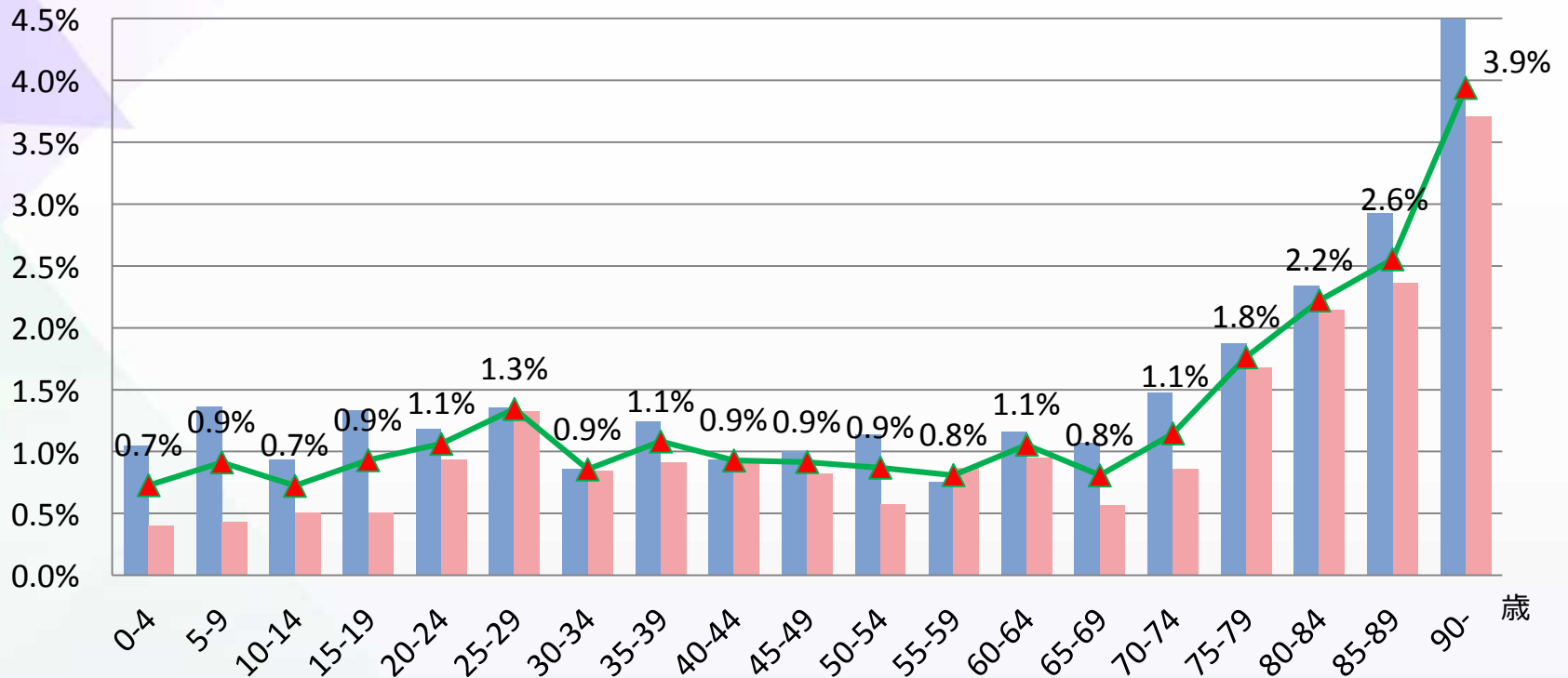
- ・外傷による「救急搬送発生率」は、高齢になるほど高くなる傾向にある。
- ・75歳以上では発生率が特に高い。

図表 3

## 救急搬送の発生率 (年齢構成別)

n=777人  
男419人  
女358人

■ 男  
■ 女  
▲ 合計



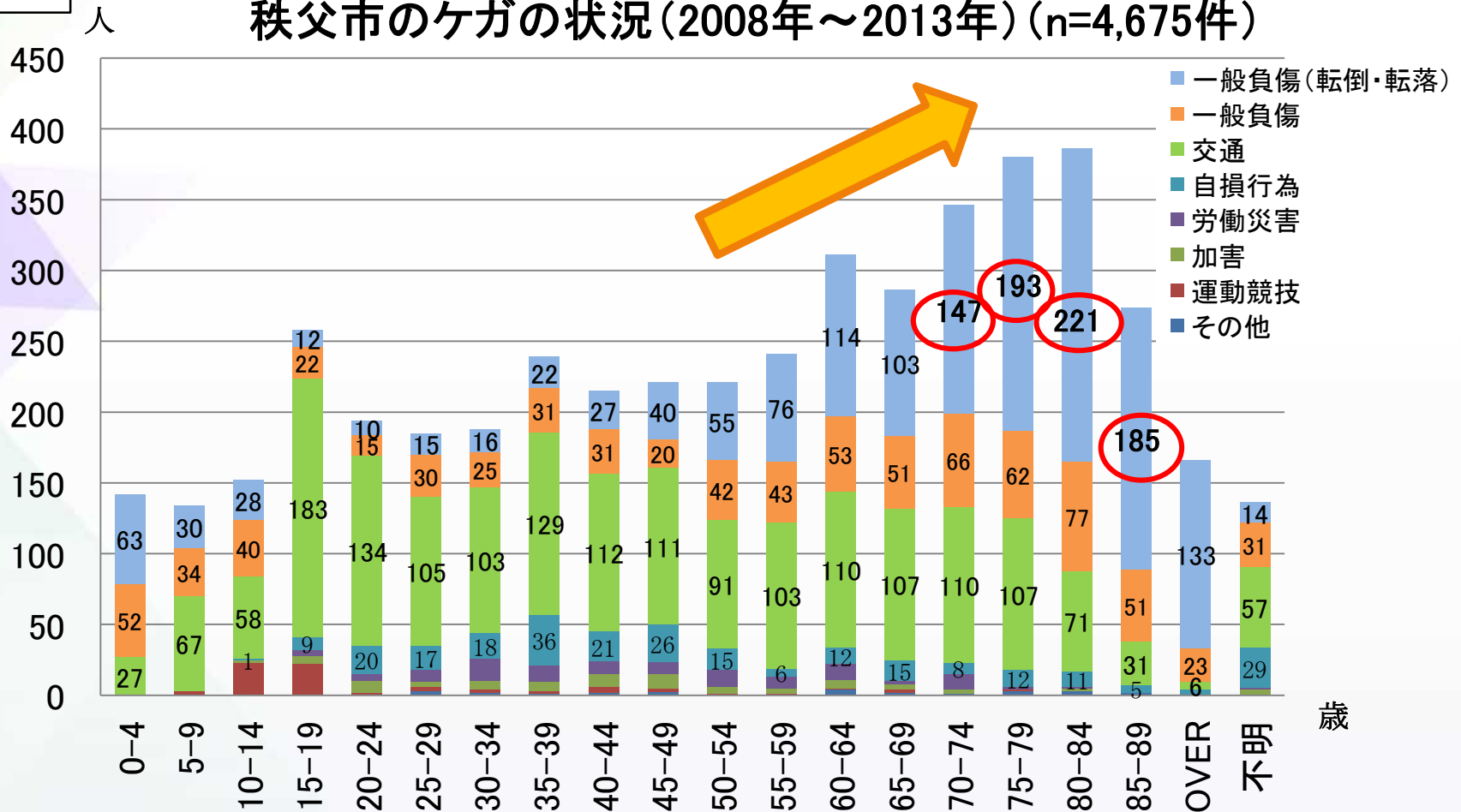
出典：救急搬送データ（2012年）

# 設置の背景④

- ・ 高齢になるほど搬送される件数が多い。
- ・ 「転倒・転落」により搬送されるケースが多い。

図表 4

秩父市のケガの状況 (2008年～2013年) (n=4,675件)



出典：救急搬送データ

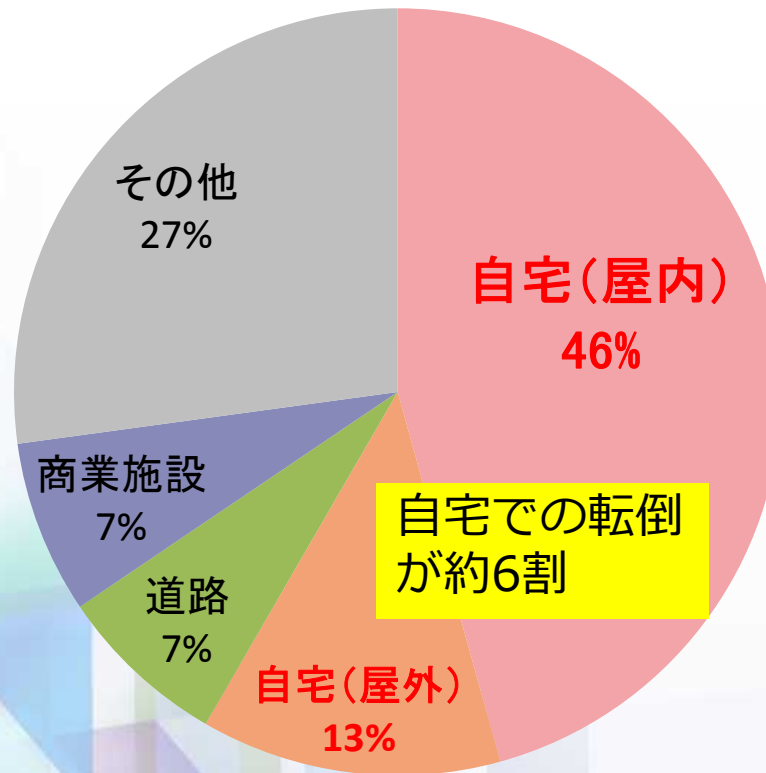


# 受傷の背景①

- ・受傷場所は、「住居」が6割、特に、「自宅（屋内）」が多い。

## 高齢者の転倒場所(n=987件)

図表 5



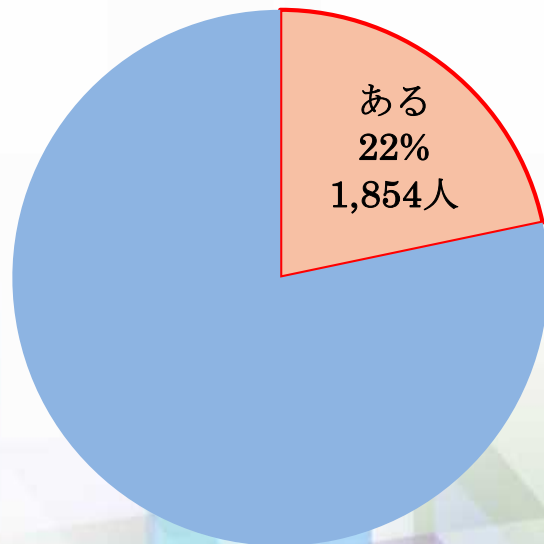
出典：救急搬送データ（2008年～2013年）

# 受傷の背景②

- ・「1年以内に転倒したことがある高齢者」 22%
- ・「転倒の不安が大きい」と答えた人 47%

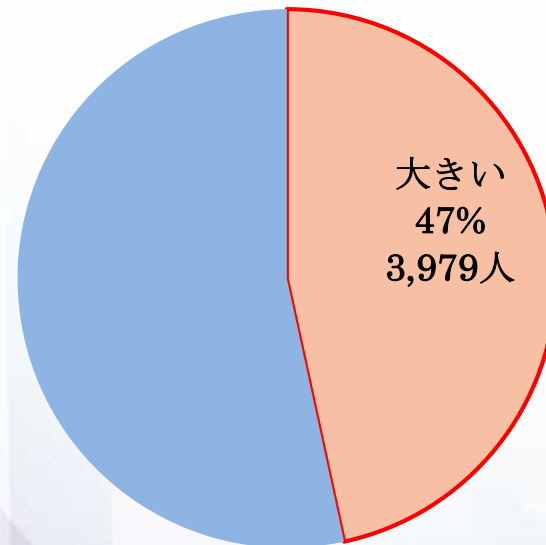
図表6-1

1年以内に転倒したことがある  
n=8,542人



図表6-2

転倒に対する不安が大きい  
n=8,542人



出典：2011年介護保険二次予防事業対象者把握調査

# 受傷の背景③

図表7

地域で安心して暮らし続けるための支援活動として期待されていることは、「ひとり暮らし等の高齢者に対する支援」

20歳以上の男女  
(n=1158人)

項目	人数	%
ひとり暮らし等の高齢者世帯や障がいのある人への声かけや話し相手	692	59.8
介護が必要な人や障がいのある人の短時間の預かり	263	22.7
乳幼児の短時間の預かり	199	17.2
子育てサロンなど子育て家庭の相談・仲間づくりの活動	247	21.3
高齢者が集える「ほっとサロン」などの活動	333	28.8
ひとり暮らし等の高齢者世帯や障がいのある人の買い物、ごみ出し等の手助け	459	39.6
ねたきり高齢者や障がいのある人のお世話	279	24.1
ひとり暮らし等の高齢者世帯や障がいのある人の庭の手入れや簡単な日曜大工	312	26.9
ひとり暮らし等の高齢者世帯や障がいのある人の緊急時の連絡・応対	530	45.8
福祉施設での手伝いや話し相手	218	18.8

出典：秩父市地域福祉に関する市民意識調査（2010年）

# 課題の整理

図表 3

図表 4

図表 5

課題 1 高齢者は、自宅での「転倒・転落」による救急搬送件数が多い。

図表6-1

図表6-2

課題 2 転倒について不安を感じている高齢者が多い。

図表 1

図表 2

課題 3 ひとり暮らしの高齢者世帯が増加している。

図表7

課題 4 支援を求めている高齢者が多い。

委員の  
意見

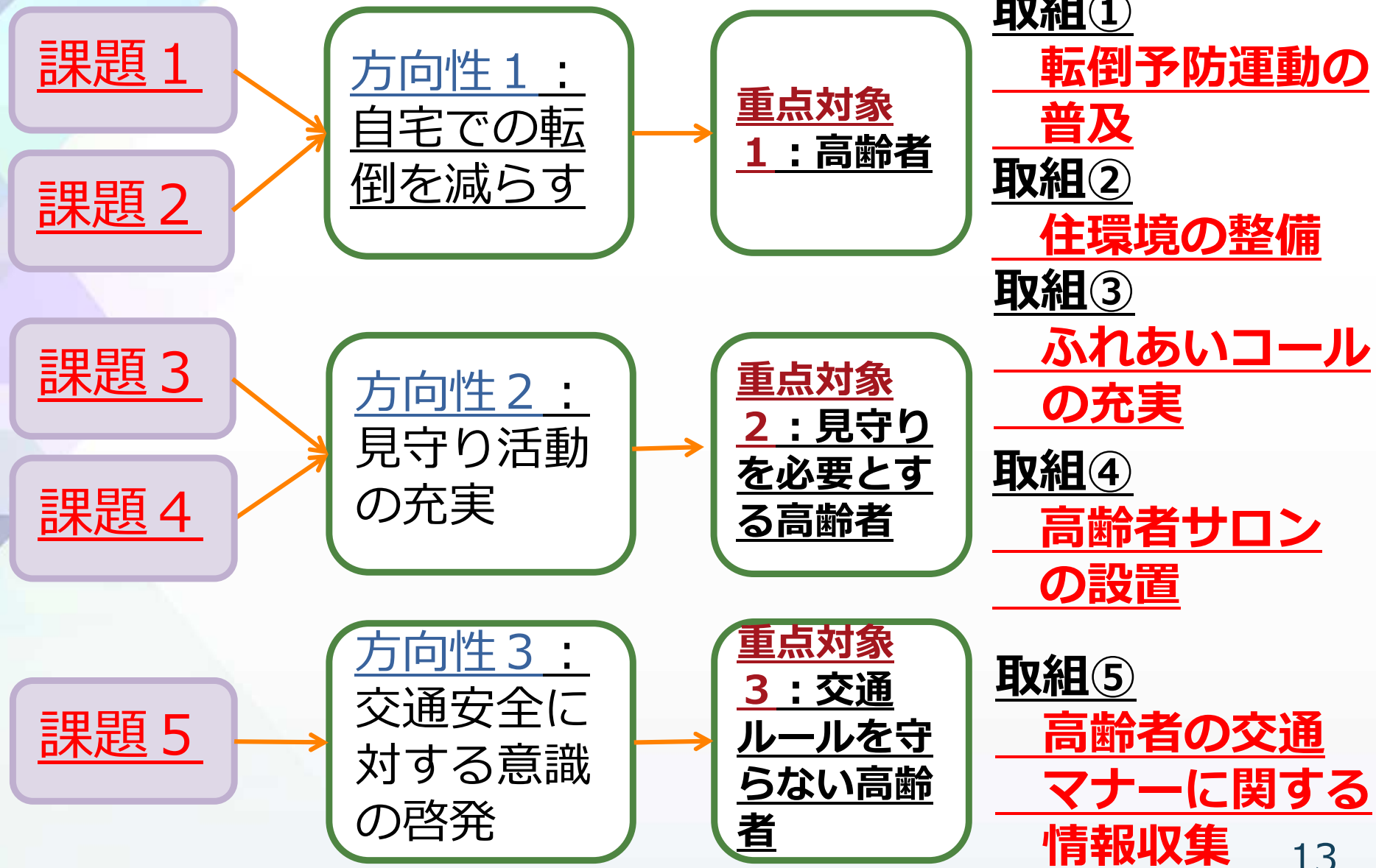
課題 5 交通ルールを守ら（れ）ない高齢者が多い。

方向性  
1

方向性  
2

方向性  
3

# 課題、方向性、重点対象、取組の整理



# 課題①②のレベル別対策（主なもの）

課題	対 策			
	方向性	国・県レベル	市レベル	地域レベル
課題①② (図表3,4, 5,6-1,6- 2)	教育啓発	<ul style="list-style-type: none"> <li>健康日本21策定</li> <li>高齢社会対策基本法策定</li> <li>一般介護予防事業</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○茶トレの普及               <ul style="list-style-type: none"> <li>・「茶トレ」講習会の開催</li> <li>・敬老会等で「茶トレ」実践の呼びかけ</li> </ul> </li> <li>○ポテくまくん健康体操の推進</li> <li>○新！はつらつ筋力アップ教室</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・老人クラブ、敬老会、町会のイベント等での「茶トレ」の実践</li> <li>・サロン活動「ポテくまくん健康体操」の実践</li> <li>・「新！はつらつ筋力アップ教室」による健康維持増進</li> </ul>
	規制	<ul style="list-style-type: none"> <li>健康増進法</li> <li>介護保険法</li> <li>健康埼玉 2 1</li> </ul>	<b>【対策委員会】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・取組み1：転倒予防運動の普及</li> <li>・取組み2：住環境整備の啓発</li> </ul>	
	環境整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>・住宅環境の整備(介護保険法)</li> <li>・バリアフリー法</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・秩父市高齢者福祉計画、第7期介護保険事業計画</li> <li>・車イスの貸出</li> <li>・車イス利用者の送迎</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・屋内環境の見直し</li> </ul>

写真⑤



写真⑦

車いすの貸出



写真⑥

バリアフリー改修



# 課題③④のレベル別対策（主なもの）

課題	対 策			
	方向性	国・県レベル	市レベル	地域レベル
課題③④ (図表1, 2, 7)	教育啓発	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域支援事業</li> <li>・一般介護予防事業</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「ふれあいコール」の推進</li> <li>○サロン活動の推進（要件を満たした場合助成金を交付）</li> <li>○単身高齢者対象のお食事会実施</li> <li>○民生委員等に対する対象者の高齢者情報の提供</li> <li>○単身高齢者世帯に配食</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・回覧板の手渡し（会話を増やす）</li> <li>・普段と違い（郵便物が溜まっているなど）を感じたら、関係機関へ通報</li> <li>・単身高齢者対象のお食事会への参加</li> </ul>
	規制	<ul style="list-style-type: none"> <li>・介護保険法</li> <li>・老人福祉法</li> <li>・災害対策基本法</li> </ul>	<div style="border: 2px solid orange; padding: 5px;"> <p><b>【対策委員会】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○取組み3：見守り活動「ふれあいコール」の充実</li> <li>○取組み4：サロン活動の設置</li> </ul> </div>	
	環境整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市町村の高齢者施策への助成金の交付</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・見守り協定の締結・推進</li> <li>・緊急通報システム事業</li> <li>・救急医療情報キット配布事業</li> <li>・秩父市高齢者福祉計画、第7期介護保険事業計画</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・単身高齢者の家庭内に救急通報システムや救急医療情報キットを配置する</li> </ul>



# 既存の対策の事例

## ◆緊急通報システム

## ◆救急医療情報キット

写真⑧



写真⑨



冷蔵庫の中

写真⑩



# 課題⑤のレベル別対策（主なもの）

課題	対策			
	方向性	国・県レベル	市レベル	地域レベル
課題⑤ (ワークショップでの意見)	教育啓発	<ul style="list-style-type: none"> <li>・シルバードライバーズドッグ</li> <li>・運転免許更新時の講習</li> <li>・免許更新前の高齢者講習（70歳～）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者の交通安全教室</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者世帯訪問（交通安全意識の啓発と反射材の着用）</li> </ul>
	規制	道路交通法	<div style="border: 2px solid orange; background-color: yellow; padding: 10px;"> <p><b>【対策委員会】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・取組み5：高齢者への交通安全意識アンケートの実施及び交通安全教室での意識改善</li> </ul> </div>	
	環境整備			

# ①転倒予防運動の普及（継続）

<p>課 題</p>	<p>①自宅での「転倒・転落」による救急搬送件数が多い ②転倒に不安がある人が多い</p>	
<p>方向性</p>	<p>自宅での転倒を減らす</p>	
<p>内容等</p>	<p>【内容】</p>	<p>転倒予防運動を普及させる</p>
	<p>【対象】</p>	<p>高齢者</p>
	<p>【対策委員会の役割】</p>	<p>取組みへの支援 ①委員各団体及び市報にて転倒予防体操の実践の呼びかけ ②「体操」のDVDを作成し、町会へ配布</p>
<p>（短期評価） 意識・知識の変化</p>	<p>【指標】 体操の開催回数</p>	<p>【測定】 講習会及びサロン(ポテくま体操) 開催回数</p>
<p>（中期評価） 態度・行動の変化</p>	<p>【指標】 体操の実践者数</p>	<p>【測定】 講習会及びサロン（ポテくま体操）参加者数</p>
<p>（長期評価） 状態・状況の変化</p>	<p>【指標】 高齢者の転倒による受傷件数</p>	<p>【測定】 救急搬送データ</p>

# 取り組み 1

## ■ちちぶお茶のみ体操（通称：茶トレ）と ちちぶポテくまくん健康体操の普及

ちちぶお茶のみ体操

ちちぶポテくまくん健康体操

New

写真⑪



写真⑫



テレビを見ながら  
少しの時間で  
できる



自宅で気軽に行  
える

高齢者全体へ展開



サロンとしても活動

# 取り組み 1-①

敬老会でお茶のみ体操のDVDを配布

図表⑧

New



SC認証後

- ① ちちぶポテくまくん健康体操の普及に取り組む
- ② 敬老会で体操のリーフレットを配布
- ③ DVDを作成し、町会へ配布。イベントや会議での実践を呼び掛け。
- ④ ホームページに動画をアップ。
- ⑤ YOU TUBE に画像を掲載

写真⑬

図表⑨

New



ホームページからダウンロードできます。



# 短・中期評価（意識・行動の変化）

## ■ 「ちちぶお茶のみ体操」 開催回数と実践者数

図表⑩

区分	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年
開催回数	91回	65回	52回	235回	570回	793回	385回
実参加人数	2065人	1794人	1557人	5494人	10,680人	13,312人	4,769人

データ：地域医療対策課

- 「茶トレ」の認知度 74%（2019年：老人クラブアンケート）  
44%（2019年：市民アンケート）
- 「茶トレ」実践者の割合 43%（2019年：老人クラブアンケート）  
10%（2019年：市民アンケート）

## ■ 「ちちぶポテくまくん健康体操」 開催回数と実践者数

図表⑪

区分	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年
開催回数	—	—	77回	224回	562回	764回	388回
実参加人数	—	—	2,117人	4564人	10,354人	12,736人	4,745人

データ：秩父市地域包括支援センター

- ちちぶポテくまくん健康体操の認知度 51%（2019年：老人クラブアンケート）

# ②住環境整備の啓発（継続）

<b>課 題</b>	①自宅での「転倒・転落」による救急搬送件数が多い ②転倒に不安がある人が多い	
<b>方向性</b>	自宅での転倒を減らす	
<b>内容等</b>	【内容】	家庭内のケガの実態を調査したリーフレットを作成・配布し、住環境の整備を啓発する。
	【対象】	高齢者
	【対策委員会の役割】	取組みの実施 ①家庭内のケガの実態を把握するためのアンケート調査の実施 ②転倒予防リーフレットの作成・配布
<b>（短期評価） 態度・行動の変化</b>	【指標】 自宅内危険箇所の認識割合	【測定】 アンケート調査
<b>（中期評価） 態度・行動の変化</b>	【指標】 自宅内危険箇所を改善した人の割合	【測定】 アンケート調査
<b>（長期評価） 状態・状況の変化</b>	【指標】 高齢者の自宅内の転倒による受傷件数	【測定】 救急搬送データ

# 取り組み2

## 住環境の整備

危険な箇所ランキングを掲載

年度	実績	図表⑫
2014	ケガの実態調査 (500人)	
2015	啓発チラシ作成枚 (東洋大協力)	5,000 認証後
2016	老人クラブ連合会・敬老会で、リーフレット配布	
2017	リーフレット見直し (東洋大協力)	
2019	老人クラブ連合会・敬老会で、新リーフレット配布	
2020		



簡易対策を掲載

図表⑬



ちちぶお茶のみ体操を掲載



# 見直した転倒予防リーフレット

ちちぶお茶のみ体操を掲載



朝、寝起きのよろけ注意

New

危険個所ランキング

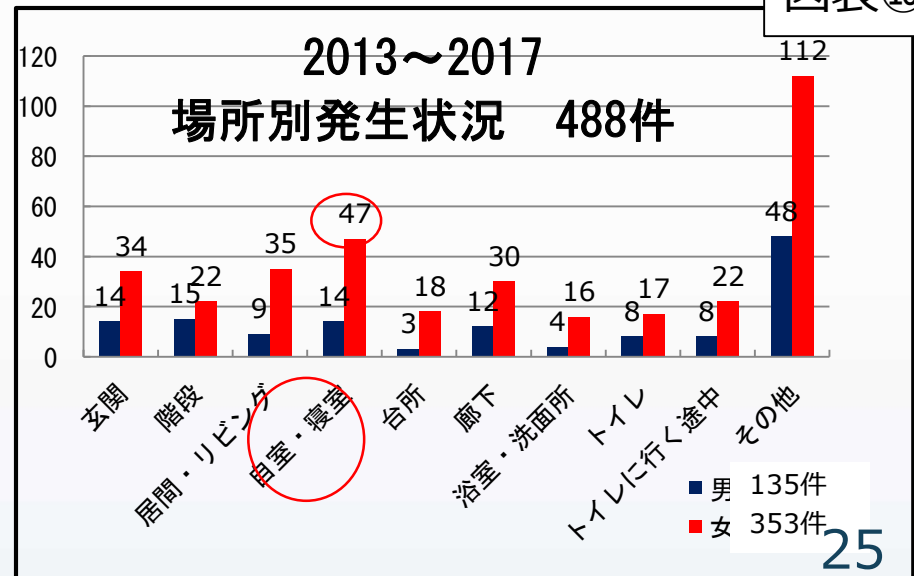
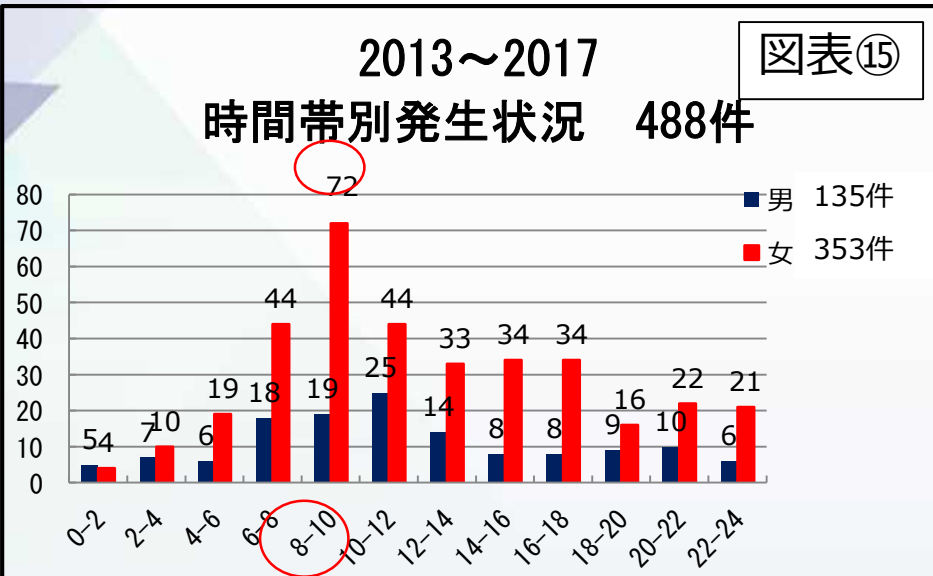


簡易対策を掲載

図表⑭

## 高齢者の家庭内での転落・転倒によるケガの現況

図表⑯




# 短・中期評価（意識・行動の変化）

## ■家庭内危険箇所の認識の割合

図表⑰

区分	住まいの中で危険だと感じる箇所	
	ある	ない
2016年	32%	68%
2019年	77%	23%




参考：2019年老人クラブ連合会アンケート（回答者360人）

リーフレットの認知度60% リーフレットの認知者のうち危険箇所を認識した人92%

## ■危険箇所を改善した人の割合

図表⑱

区分	安全のために住まいを改善した	
	ある	ない
2016年	30%	70%
2019年	36%	64%



参考：2019年老人クラブ連合会アンケート（回答者360人）

安全のために住まいを改善した66%

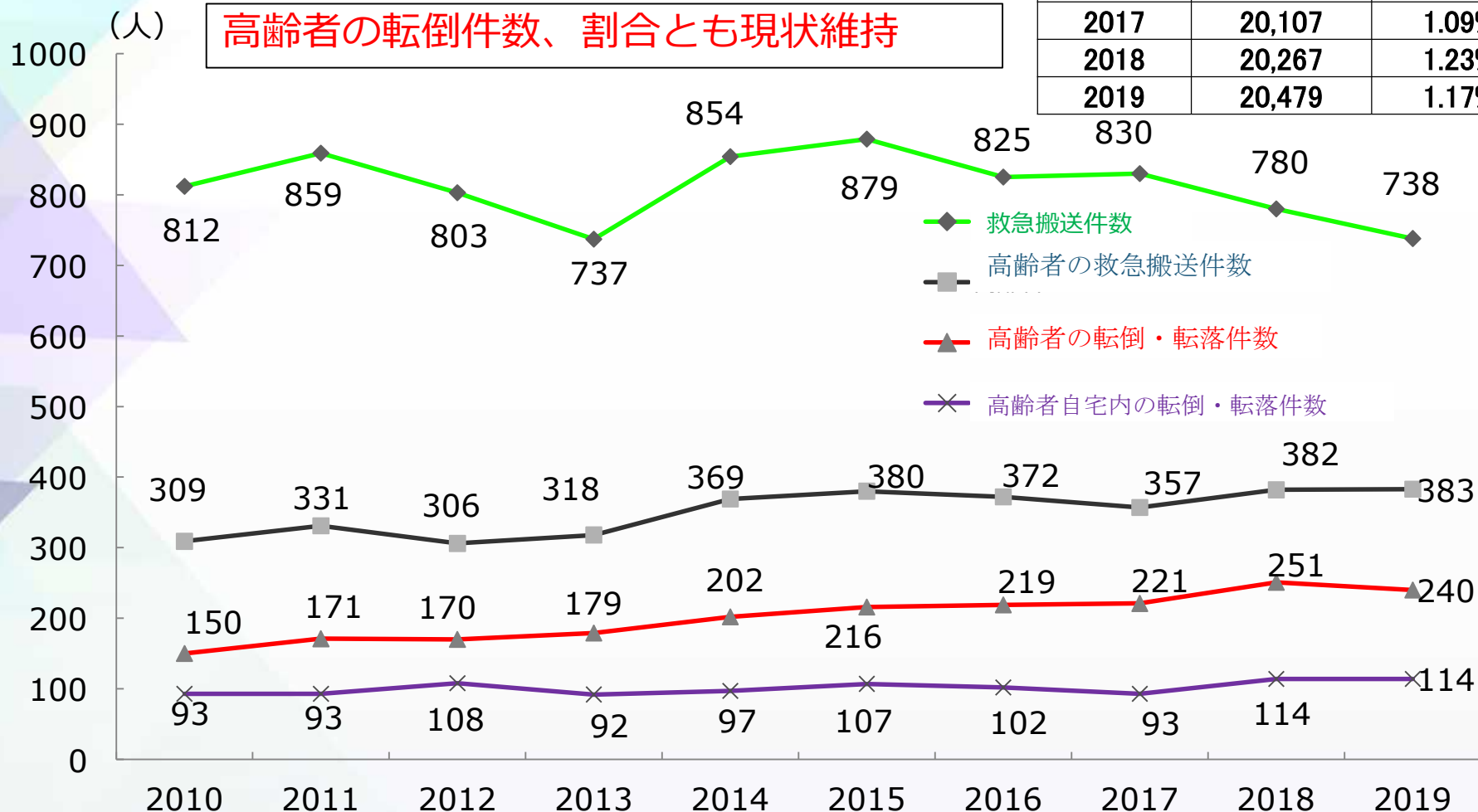
# 長期評価（状況の変化）と現状

## ■転倒によるケガの減少（高齢者の救急搬送データ）

高齢者人口（各年4月1日現在）と転倒・転落の割合

図表⑱

高齢者の転倒件数、割合とも現状維持



年度	人数	割合
2016	19,872	1.10%
2017	20,107	1.09%
2018	20,267	1.23%
2019	20,479	1.17%

# ③見守り活動（ふれあいコール）の充実（継続）

<b>課 題</b>	③ひとり暮らし世帯の増加 ④支援を求めている高齢者が多い	
<b>方向性</b>	見守り活動の充実	
<b>内容等</b>	<b>【内容】</b>	単身高齢者などを対象に、本人に気づかれないようにそっと見守る「ふれあいコール」を充実（回覧板を手渡しするなど）させる
	<b>【対象】</b>	単身高齢者等
	<b>【対策委員 会の役割】</b>	<b>取組みの支援</b> ①見守り実施者へ回覧板の手渡しの呼びかけ ②ふれあいコールを充実させるためのアンケートの実施
<b>（短期） 意識・知識の変化</b>	<b>【指標】</b> 見守りする人の意識向上	<b>【測定】</b> アンケート調査
<b>（中期） 態度・意識の変化</b>	<b>【指標】</b> 見守り対象者の近所つきあい等を向上させた割合	<b>【測定】</b> アンケート調査
<b>（長期） 状態・状況の変化</b>	<b>【指標】</b> 高齢者の不安感の減少	<b>【測定】</b> アンケート調査

# 取り組み3

## ■ふれあいコール（見守り活動）の充実 ふれあいコールの様子

図表⑳

年度	見守対象者 (町会からの報告数)	見守実施者 (各年度4月1日) (民生委員、在宅福祉員等)
2015	1,813人	627人
2016	1,977人	628人
2017	2,218人	629人
2018	2,197人	632人
2019	2,050人	634人
2020	2,223人	627人

写真⑭



写真⑮



郵便局との締結式

### SC認証後

ふれあいコールを充実させるためのアンケートをモデル地域へ実施

※事業者との見守り協定の締結（郵便局ほか31事業者）

# 短・中期評価（意識・行動の変化）

## ■見守りする人の意識向上

図表⑳

区分	見守りに対する認識の向上	
	向上した	変わらない
2019年	81%	19%

※回覧板の手渡し、声かけを意識的に行っている89%

## ■近所つきあいを向上させた人の割合

図表㉑

区分	見守り対象者の行動（実施者の主観）			
	家を行き来する	立ち話をする	あいさつをする	ほとんどつきあわない
2019年	19%	62%	19%	0%
2019年 市民アンケート	25%	51%	21%	3%

※見守り対象者から声をかけてくれる機会が増えた（見守り実施者の主観）85%

出典：モデル（上町）町会見守り実施者へのアンケート 回答者27人(図表㉑㉒)

# ④高齡者サロンの設置（継続）

<p>課 題</p>	<p>③ひとり暮らし世帯の増加 ④支援を求めている高齢者が多い</p>	
<p>方向性</p>	<p>見守り活動の充実</p>	
<p>内容等</p>	<p>【内容】</p>	<p>地域単位でサロンをつくり、高齢者同士の見守り活動の拠点とする。また、人との交流やサロンの参加が健康にプラスとなるとの根拠に基づき、取組みを推進する。</p>
	<p>【対象】</p>	<p>高齢者</p>
	<p>【対策委員会の役割】</p>	<p>取組みの支援 ①サロン活動設置の推進 ②委員の各団体及び市報にてサロン設置の呼びかけ</p>
<p>（短期） 意識・知識の変化</p>	<p>【指標】 サロン設置数の増設</p>	<p>【測定】 サロン設置数</p>
<p>（中期） 態度・行動の変化</p>	<p>【指標】 サロン参加者の増加</p>	<p>【測定】 サロン参加者数</p>
<p>（長期） 状態・状況の変化</p>	<p>【指標】 高齢者の不安感の減少</p>	<p>【測定】 アンケート調査</p>

# 取り組み4

## ■高齢者サロンの設置

写真①⑥



サロン活動の様子

### SC認証後

- ①サロン活動が立ち上がり、参加者が増加
- ②サロン参加者が地域貢献の取組を行う「一歩進んだサロン」を研究
- ③犯罪防止（高齢者の万引き）対策委員会との連携研究。普段活動に参加しない高齢者をサロンに参加させ、心の充実感を引き出し、万引きの抑制につなげる。

写真①⑦





# 短・中期評価（意識・行動の変化）

## ■サロンの設置数・参加者の増加

図表⑳

年度	設置団体	実人数
2014	実態調査 (モデル地区の事例収集)	—
2015	モデルサロンの募集・開設	—
2016	30団体	195人
2017	51団体	483人
2018	74団体	1,466人
2019	91団体	1,676人
2020	93団体	1,882人

認証後

データ提供：秩父市包括支援センター

参考：2019年老人クラブ連合会アンケート（回答者360人）  
サロンに参加している人42% 今後参加しようと思う人31%

参考：2019年安全・安心なまちづくりに関する市民意識調査アンケート  
サロンの認知度33% サロンに参加している人6%

# 長期評価（状況の変化）と現況

## ■単身高齢者の不安感 地域で安心して暮らし続けるための支援活動として期待されていること

図表⑭	項目	2011年 (人数・%)	2016年 (人数・%)
	ひとり暮らし等の高齢者世帯や障がいのある人への声かけ・話し相手	692人(59.8%)	539人(53.8%)
	介護が必要な人や障がいのある人の短時間の預かり	263人(22.7%)	170人(17.0%)
	乳幼児の短時間の預かり	199人(17.2%)	173人(17.3%)
	子育てサロンなど子育て家庭の相談・仲間づくりの活動	247人(21.3%)	209人(20.9%)
	高齢者が集える「ほっとサロン」などの活動	333人(28.8%)	271人(27.1%)
	ひとり暮らし等の高齢者世帯・障がいのある人の買い物、ごみ出し等の手助け	459人(39.6%)	351人(35.1%)
	ねたきり高齢者や障がいのある人のお世話	279人(24.1%)	167人(16.7%)
	ひとり暮らし等の高齢者世帯や障がいのある人の庭の手入れや簡単な日曜大工	312人(26.9%)	231人(23.1%)
	ひとり暮らし等の高齢者世帯や障がいのある人の緊急時の連絡・対応	530人(45.8%)	396人(39.6%)
	福祉施設での手伝いや話し相手	218人(18.8%)	138人(13.8%)



高い  
順位

割合  
減少



出典：地域福祉に関する市民意識調査

図表⑮	区分	高齢者が集える サロン活動
	2011年	29% 第4位
	2016年	27% 第4位

出典：地域福祉に関する市民意識調査

図表⑯	サロン活動が高齢者の不安 の軽減につながる	
区分	思う	思わない
2019年	84%	16%

出典：2019年老人クラブ連合会アンケート（回答者360人）

# ⑤ 高齢者の交通マナーに関する情報収集 (継続)

<b>課 題</b>	<b>交通ルールを守ら (れ) ない高齢者が多い</b>	
<b>方向性</b>	交通安全意識の啓発	
<b>内容等</b>	<b>【内容】</b>	高齢者の交通マナーに関するデータが存在しなかったため、アンケートにより実態を把握し、交通安全教室に反映した。
	<b>【対象】</b>	高齢者
	<b>【対策委員会の役割】</b>	取組みの支援 ① 高齢者の交通安全意識アンケートの実施 ② アンケート結果の交通安全対策委員会への提供【高齢者の交通安全教室で結果を活用した意識改善の実施】
<b>(短期)</b> 意識・知識の変化	<b>【指標】</b> 交通安全意識の向上	<b>【測定】</b> アンケート (老人クラブ連合会)
<b>(中期)</b> 態度・行動の変化	<b>【指標】</b> 反射材を着用するなど、安全行動をした人数	<b>【測定】</b> アンケート (老人クラブ連合会)
<b>(長期)</b> 状態・状況の変化	<b>【指標】</b> 高齢者の交通事故の減少	<b>【測定】</b> 警察データ

# 取り組み5

## 交通安全に対する意識の啓発

写真⑱

アンケート実施



認証後

写真⑲

New



高齢者の交通安全教室

図表⑳

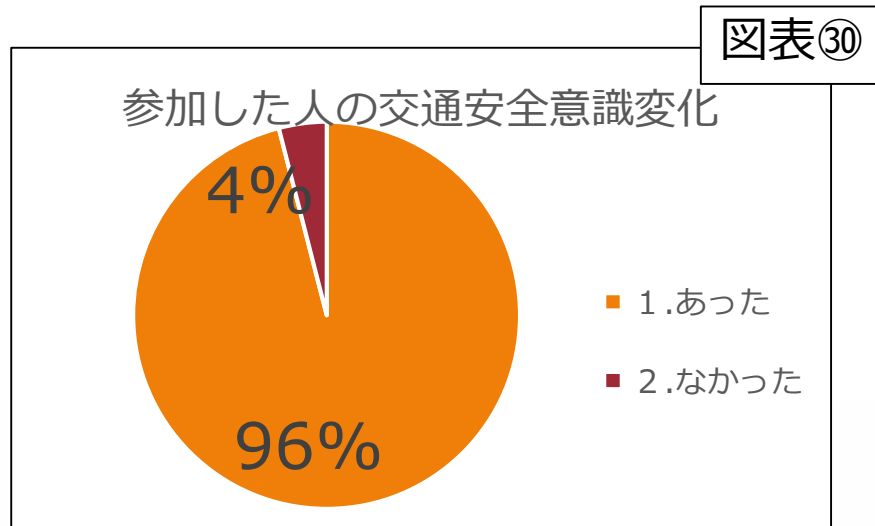
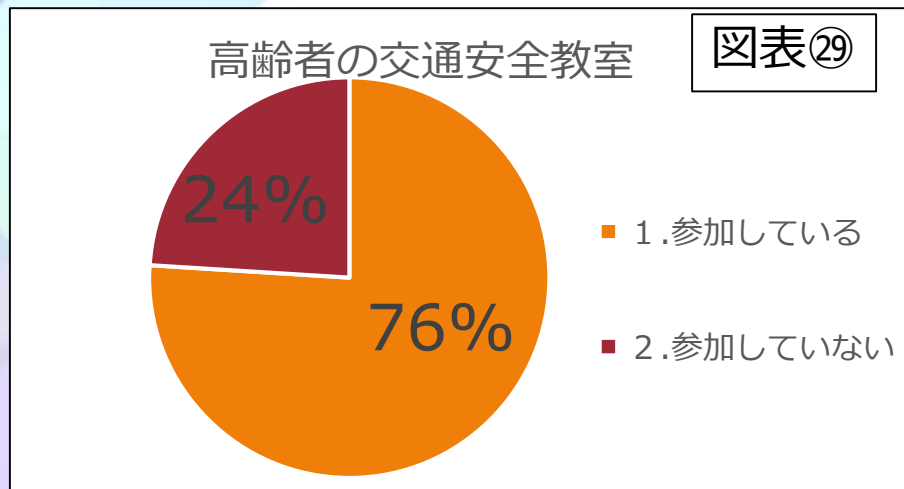
年度	活動実績
2014	アンケート実施 (500人)
2015	高齢者の交通安全教室にて、 アンケートを活用した講話 プログラムを実施
2016	—
2017	—
2018	アンケート実施 (360人)
2019	—
2020	—

図表㉑

高齢者の交通安全教室実績		
2016	38回	1,254人
2017	39回	1,264人
2018	46回	1,307人
2019	40回	1,112人
2020	11回	307人

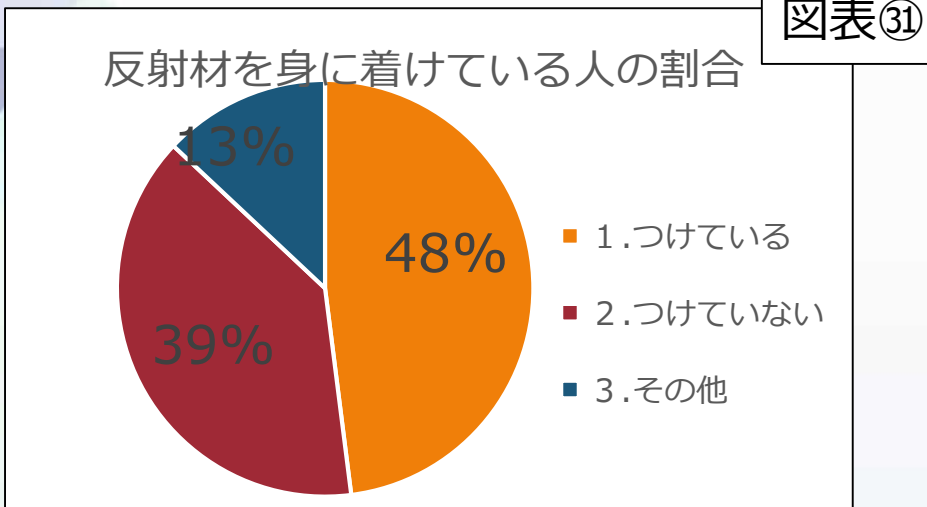
# 短・中・長期評価（意識・行動・状況の変化）

## 交通安全意識の向上



出典：2019年老人クラブ連合会アンケート（回答者360人）

## 反射材を着用した人の割合



出典：2019年老人クラブ連合会アンケート（回答者360人）

## 高齢者の人身交通事故件数

図表㉒

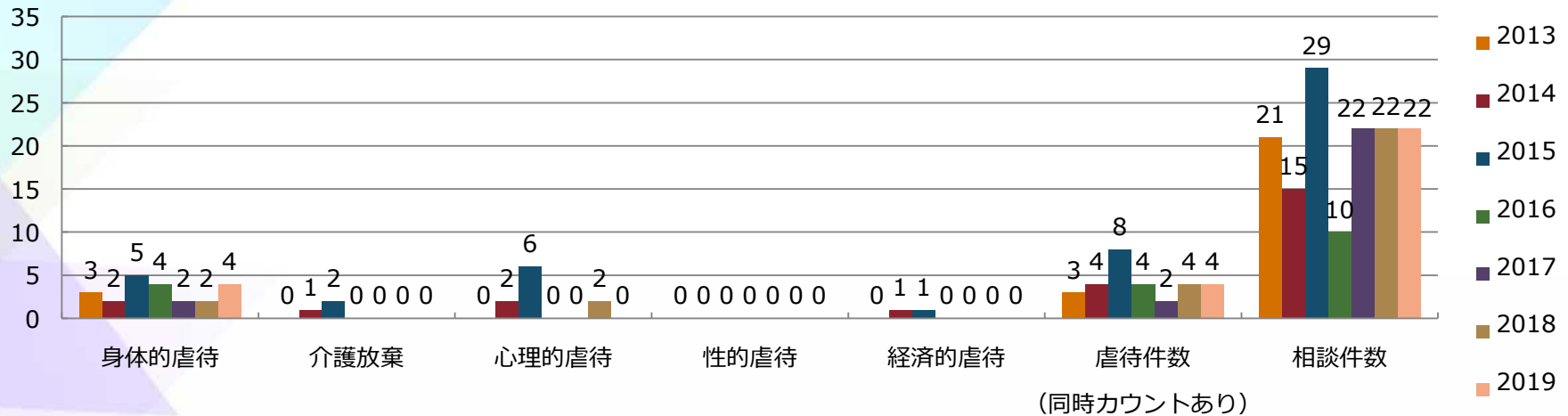
区分	事故件数	事故割合
2015 (認証)	78	0.39%
2016	74	0.37%
2017	84	0.41%
2018	58	0.28%
2019	78	0.38%
2020	74	0.35%

出典：秩父警察署

# 新規取組み：高齢者の虐待

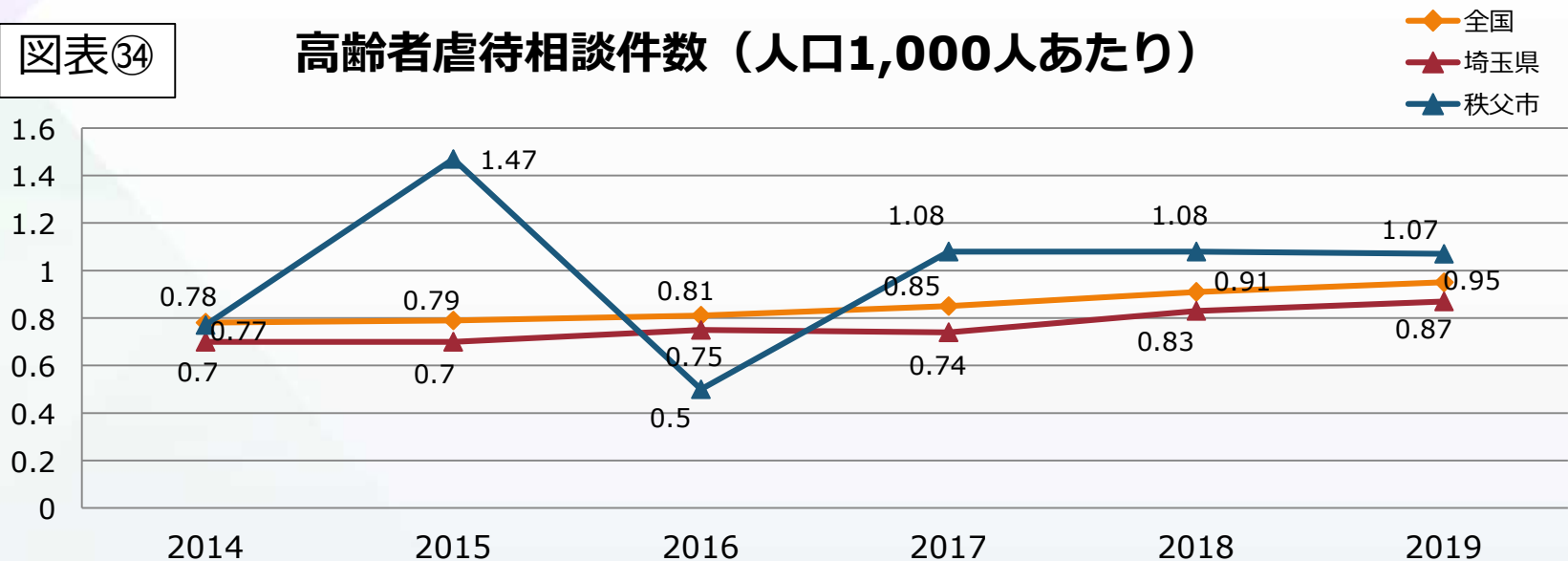
図表③③

## 高齢者虐待（2013～2019）




図表③④

## 高齢者虐待相談件数（人口1,000人あたり）



# 新規取組み：虐待・DV

～みんなで作る安全・安心なまち～  
高齢者や子どもの虐待、DVの通報を  
見て見ぬふいをしない  
**すぐ通報！**



皆様、一人一人のお力が必要です

**虐待のサイン**

- ①泣き声や怒鳴り声が聞こえる
- ②頻りにケガをしている など
- ③衣服がよこれている、家族から放任や暴力を受けている様子がある

～様子のおかしい子どもや高齢者など～ **見逃さない**

埼玉県虐待通報ダイヤル **#7171**  
★24時間365日対応

- 秩父警察署 Tel.24-0110
- 小鹿野警察署 Tel.75-0110

●連絡者や連絡内容に関する秘密は守られます  
●生命に危機があるなど緊急の場合は、地域の警察署あるいは110番へ

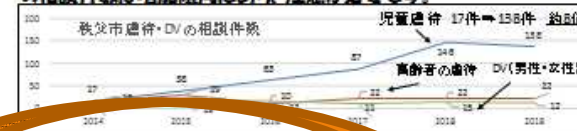
お問い合わせ先：埼玉県高齢者・子どもの安全対策委員会、埼玉県、秩父警察署、小鹿野警察署

図表③⑤

通報する  
71%

定義・窓口両方  
知っている人  
21%

当市では児童虐待相談件数が増加傾向ですが、全国的に虐待・DVの相談件数は増加傾向にあり、注意が必要です。



**市民アンケートの結果**

虐待の定義と相談窓口について

- 虐待の定義、両方知っているが、21%
- 虐待の定義は知っているが、窓口は知らない、28%
- 虐待の定義も、窓口も知らない、51%

虐待を見かけた場合に通報するかどうかについて

- 通報する 71%
- 通報しない 29%

●3割以上の方が虐待に関する定義と相談窓口を両方知らないと回答  
●7割以上の方が虐待を見かけた場合に通報すると回答

**虐待とは** 埼玉県虐待禁止条例では、虐待に該当する行為を下記の5つの類型で定めています

- ①身体的虐待
  - ・子どもへの暴力をふるう
  - ・子どもを閉じ込める、重責をふりつけるなどの危険にさらす など
- ②性的虐待
  - ・子どもへの性的行為をする、性行為を強要する
  - ・わいせつ映像等を見せる など
- ③心理的虐待
  - ・子どもの目の前で家族に対して暴力をふるう
  - ・からかう、侮辱する、無視する など
- ④経済的虐待
  - ・日常生活に必要な現金を渡さない、使わせない
  - ・年金や財産などを勝手に使う、処分する など

●該当する場合は、自分一人で抱え込まず、虐待通報ダイヤル等に電話をしてください

図表③⑥

## 活動指標と評価指標

取り組み	活動指標	成果指標	
		短・中期	長期
通報体制の整備	チラシの配布枚数	指標名 高齢者の虐待通報件数 確認方法 秩父市包括支援センターデータ（毎年）	指標名 高齢者の虐待件数 確認方法 秩父市包括支援センターデータ（毎年）

# 事前指導の際のアドバイス

## アドバイス①

「栄養の取り方、転びにくい靴や服装」などの転倒防止に関する知識を提供していく

対応

委員の団体にて、高齢者を集めての栄養摂取研修会や食生活改善の料理教室が行われている。  
高齢者の安全対策委員会 = 上記の情報提供及び出前講座の実施

## アドバイス②

高齢者の体の状況に応じてステージを考え、転倒対策をしていく

対応

以下のとおりステージを位置付ける  
外出可能（元気な時） 外サロンでポテくまくん健康体操  
外出困難（ためらう時） 自宅でちちぶお茶のみ体操



# まとめ 1 (評価による振り返り)

	成 果
転倒予防	<ul style="list-style-type: none"><li>★講習会やサロンとしての転倒予防運動が活発化してきている。</li><li>★後期高齢者が増える中、高齢者の転倒・転落件数が現状維持を保っている。</li></ul>
見守り活動	<ul style="list-style-type: none"><li>★見守りする人の意識が高くなっている。</li><li>★見守りされる側の近所つきあいが向上されている。</li><li>★地域でのサロン活動が活発化してきている。</li></ul>
交通安全	<ul style="list-style-type: none"><li>★高齢者の人身交通事故件数が減少傾向にある。</li></ul>

## まとめ2 (評価による振り返り)

	課題
転倒予防	<p>①「ちちぶお茶のみ体操」は知っているのに、実践割合が低い。</p> <p>②普段活動に参加しない高齢者の家庭内危険箇所の認知度と改善割合が低い。</p>
見守り活動	<p>★高齢者の近所付き合いが疎遠傾向にある。</p> <p>★普段活動に参加しない高齢者のサロン参加が少ない。</p>
交通安全	<p>★反射材を身に着けている割合が低い。</p>

# まとめ3 (新たな課題①) 既存の取組み

図表③⑦

取組み	2019年度	2020年度
茶トレ講習会	793回 13,312人	385回 4,769人
リーフレット配布	4,300枚	700枚
秩父ポテくまくん健康体操	764回 12,736人	388回 4,745人
見守り活動	週に1回程度	月に1回程度
高齢者サロン	91団体 1,676人	28団体 659人



取組み	工夫
転倒予防運動 「お茶のみ体操」の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>★地域の「ラジオ放送局・インターネットTV」の活用</li> <li>★ホームページ・YOU TUBEの体操動画を周知</li> <li>★市報で特集を組んで体操を紹介</li> </ul>
見守り活動	★電話を活用しての声かけの実施
高齢者サロン	★感染予防対策（マスク着用・定期的な喚起・手指消毒等）を行った上での開催

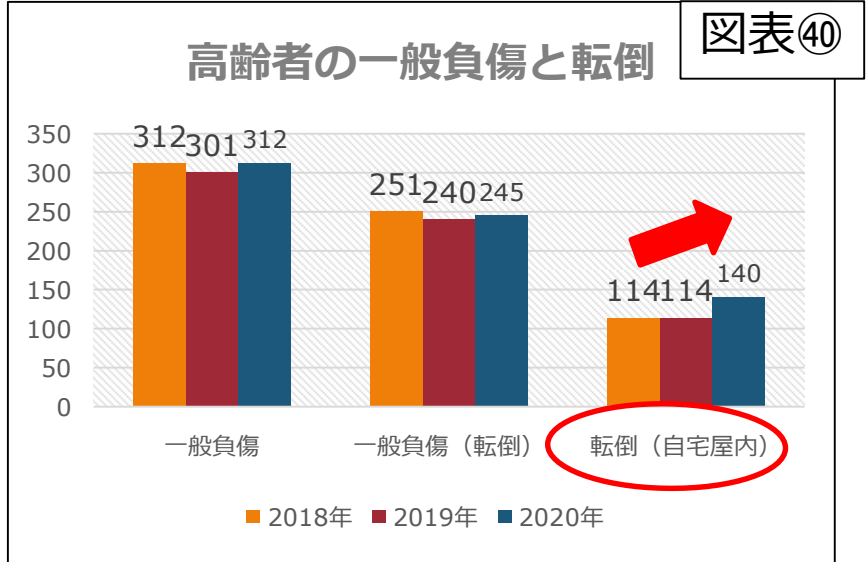
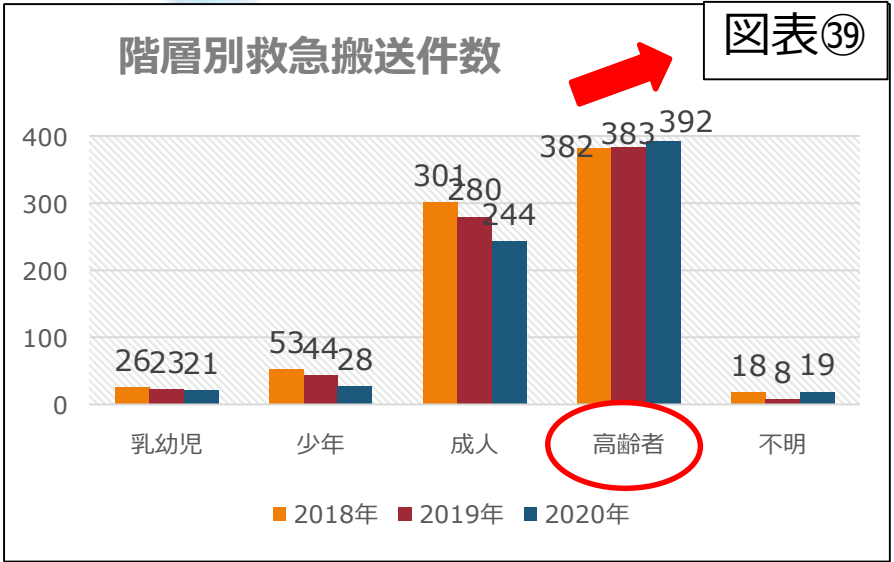
図表③⑧

# まとめ3 (新たな課題②) データ傾向

## 救急搬送データ



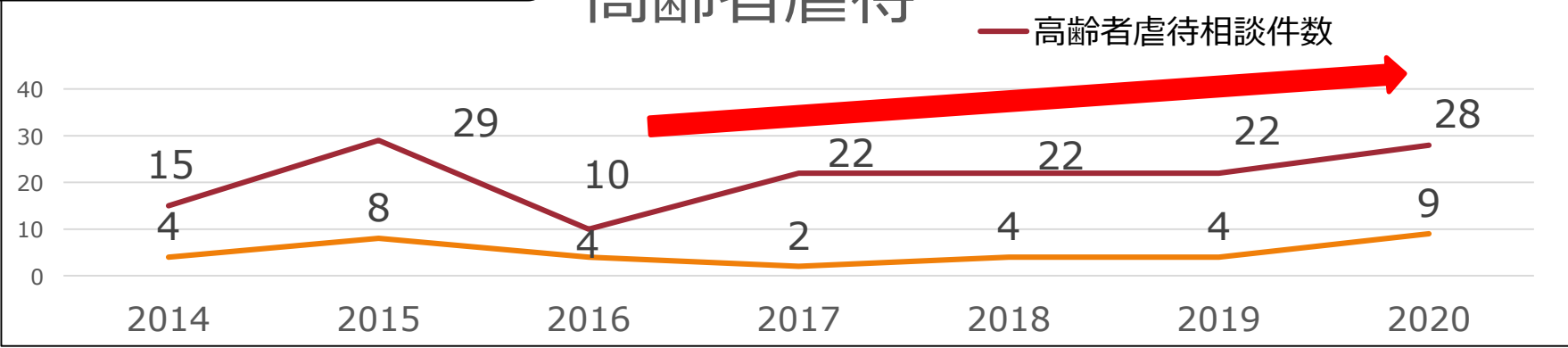
## 高齢者の自宅での転倒が増加



## 虐待相談件数

## 高齢者虐待

図表④⑪

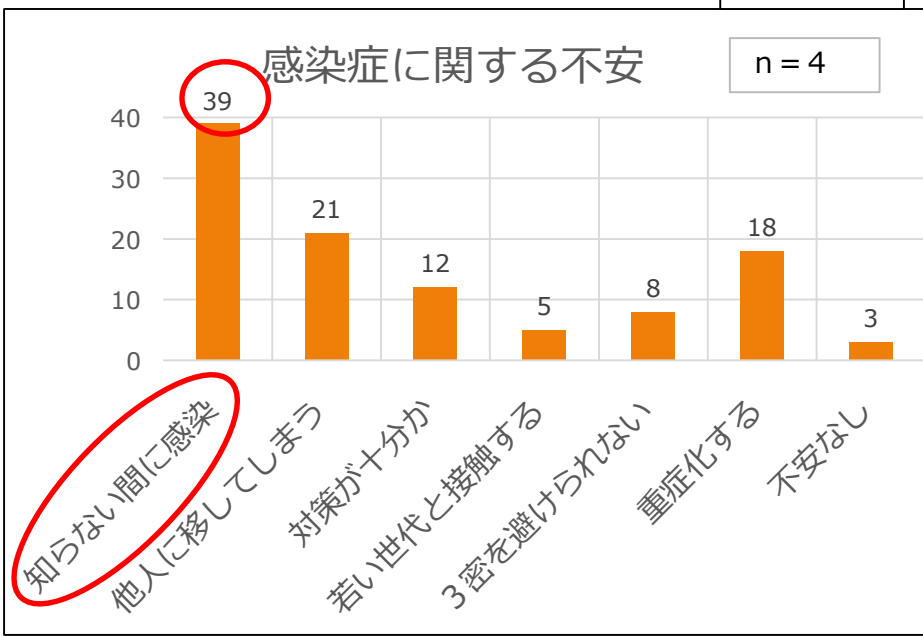


# まとめ3 (新たな課題③) アンケート結果

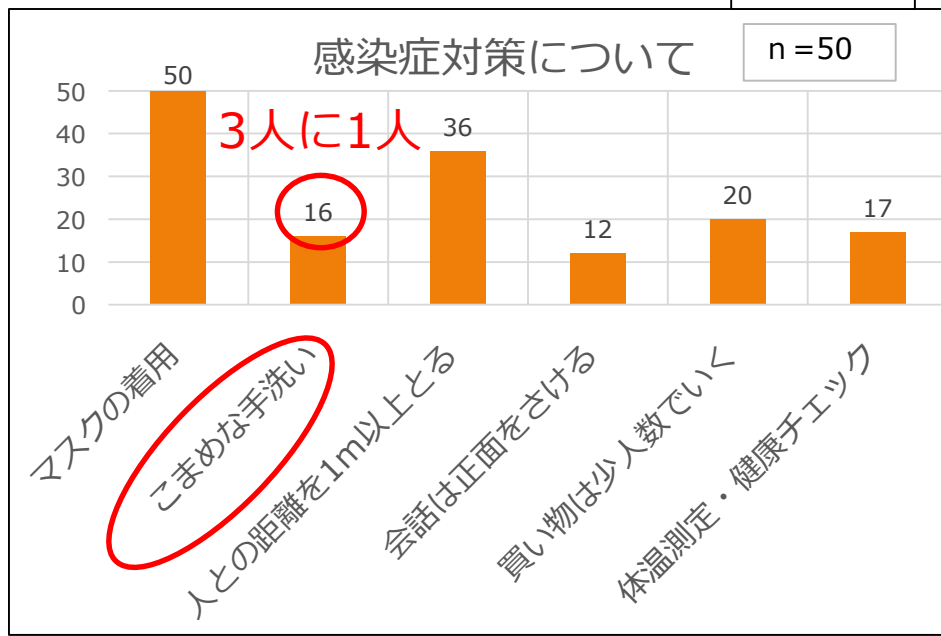
## 新型コロナウイルスに関するアンケートを実施

- \* 感染症への不安では、知らない間に感染することへの恐怖が高い
- \* 感染症対策では、こまめな手洗いが3人に1人しか行われていない

図表④2

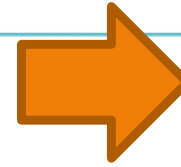


図表④3



# 新型コロナウイルス感染症への取組み

\*手洗いは、マスクとともに個人でできる感染症対策として、有効な取組み



手洗いの習慣化

帰ったらすぐ手洗いを呼びかけるチラシの作成・配布

市報での呼びかけ  
帰ったらすぐ手洗い



図表(44)

高齢者に行ったアンケートでは、マスクの着用が100%に対し、手洗いの実施は3人に1人と他の予防方法と比較しても実施割合が低くなっています。

感染症対策の基本は、手洗い・マスクの着用です。マスクの着用とともに、**手洗いを習慣化**させましょう!



図表(45)

ご清聴ありがとうございました



**国際認証都市**  
**セーフコミュニティちちぶ**

